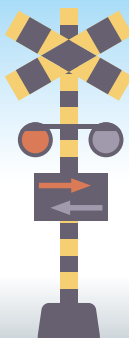


さようなら、宮田前踏切

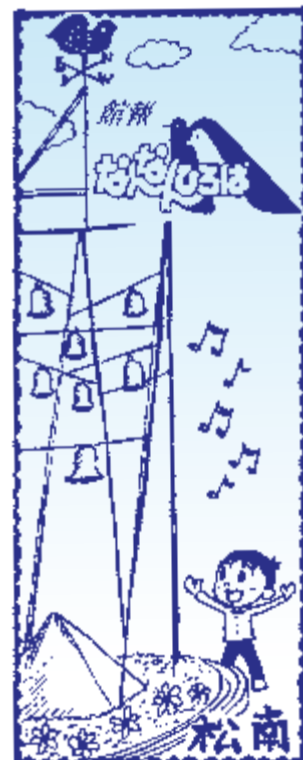
そして、新たな未来に向かって

南松本駅南側の宮田前踏切は、線路と道路の立体交差化
工事のため、10月末をもって閉鎖されました。
工事の完了は概ね10年後を予定しています。





田中康夫県政（2000年）に始まる「開かずの踏切」解消事業が、いよいよ着工。鉄道走行を妨げないアンダーパス工事は深夜のみ。また地盤・地下水対策など課題が多く、約10年を要します。



松南地区の悲願ですが、交通動線は変化し、期待と不安の10年が予想されます。東西道路が乏しく、国道19号線の渋滞が常態化している中では、地区内各所の南北道路の渋滞も懸念されます。イオン南松本店東の「芳野双葉線」の早期開設や生活道路の拡幅など迂回道路対策は急務でしょう。

（白澤 幸男）



宮田前踏切



工事完了後の未来予想図

私は南松本駅北側の東西方向「やまびこ道路」で、クリーニング店を経営しています。当初、自動車の多さと慢性的な交通渋滞には驚きました。が、現在もあまり変わっていません。

それような中、懸案だった立体化工事が何十年ぶりに着工されることになりました。隣接する地域で説明会が開かれました。内容を聞きますと、踏切を閉鎖するにあたって、地域住民の実情にあった対策がとられていないようです。ましてや、迂回路として、以前と変わらない交通量の「やまびこ道路」の利用は、私の思うところでは、道路環境がさらに悪化し、今後営業が継続できるか不安な気持ちのこの頃です。

（菅沼 進）

松本市保健所庁舎建設に伴う遺跡調査が、8月から始まりました。そこで9月23日、調査担当者で日本考古学協会員の直井雅尚さんから調査への期待を伺いました。



松南地区 地域学習会



が想定されます。また現イオン松本店開設に伴う出川南遺跡調査では、市内唯一の埴輪を伴う平田里古墳(5世紀)をはじめ110数戸の住居址(5〜7世紀)が検出されました。今回の調査地は、馬具や耳飾りを伴う焼けた大型住居が発見された芳野町公民館とも隣接し、古墳時代後期の「大きなムラ」の解明に期待が膨らみます。しかし奈良・平安時代になると「謎の衰退」期を迎えます。奈良井川の氾濫が要因でしょうか。

少年期を松南地区で過ごし、考古学一筋で調査研究されてきた直井さん。情熱的で緻密なお話に、参加者は聞き入りました。(白澤 幸男)

松南地区のできごと

9/28 地区球技大会



▶ 熱戦が繰り広げられました

9/18 バスツアー(小布施町)



▶ 小布施ミュージアムにて

9/13・14 なんなんフェスタ 2025



▶ 開明小学校4年1組のスケールの大きな書道作品です

10/31 開明小学校おんがく会



▶ 素敵な音色を奏でました

10/26 南部体育館
避難所開設訓練



▶ 簡易トイレの組立

10/4 ひろばまつり



▶ つむぎちゃんの登場